

令和6(2024)年5月吉日

ピアメディエーション学会 令和5年度 第2回研究会開催のご案内
～ 学校・職場・地域における修復的正義と対話 ～

一般社団法人ピアメディエーション学会 会長 水野 修次郎

2010年に私(水野)は、大学でリコンシリエーション(和解)という授業を始めました。リコンシリエーションは、カナダやアメリカでの先住民族との紛争、オーストラリアのアボリジニとの紛争、カンボジアのキリングフィールドの経験、南アフリカのアパルトヘイト、ルワンダのジェノサイド、ヨーロッパの民族浄化などの経験を得て辿りついた現実的な紛争解決の方法です。これらの紛争解決に必要なのは、合理的な合意形成ではなかったのです。過去の犯罪を処罰するよりは、ゆるすことで新たな人間の関係性を構成しようという試みだったのです。そのためには、慈悲やケアリングが必要です。そこで、エンライト(Enright)のゆるしのカウンセリング(forgiveness)を研究して、翻訳しました。

スクールカウンセラーや大学でのカウンセリング実践をしている内に、不登校や引きこもり、教員と生徒との対立などに直面して、少しばかり成功しましたが、不満感は残りました。そこで、社会との関係性を修復するために、サービスマニエーションという授業も始めました。この用語で、ボランティアというよりはケアリングという社会的な意味が明快になりました。

このように、私の辿ってきた軌跡を振り返ると、いつも直面していたのは、関係性の修復でした。歴史的なマイナス遺産と現在との関係修復、自分と他人との関係、自分と社会の関係性、自分と自分との関係性の修復などの関係性の修復という課題でした。コールバーグのいう第6段階の正義は、慈悲と正義が統合された高い次元での正義実現です。つまり、正義とケアリングを同時に実現する高い合意形成です。ところが、現実には慣習的な秩序を基準とする第3段階が望める段階でしょう。修復的正義は、人類の歴史と辛い過去の学びによって生まれてきた哲学です。現実的で、実践的な叡智です。

今回、学校での修復的正義について研究会が開催できることは、学会にとっても画期的な企画です。それは、修復的正義がこれからの学校や社会にとって哲学的な、そして実践的な力となるからです。この研究を起点として、修復的正義がこれからのピアメディエーション学会の重要な研究や実践の課題となるでしょう。

日 時：令和6(2024)年6月30日(日) 午後1時～午後4時

会 場：四天王寺大学 あべのハルカスサテライトキャンパス

〒545-6023 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス 23階

形 式：ハイブリッド方式(対面とオンライン)

参加費：学 会 員：無料

一般参加者：2,000円

スケジュール：

12:30 開場

13:00 開会・挨拶 和田 良彦 副会長

13:10 講演Ⅰ・質疑応答 竹村 登茂子

14:00 休憩

14:10 講演Ⅱ・質疑応答 竹原 幸太

15:00 休憩

15:10 全体討論

「修復的正義とピアメディエーション」 ファシリテーター：濱田 陽子

15:55 閉会の挨拶

※時間は前後することがあります。ご了解ください。

【研究会の内容】

(1) 修復的対話は学校でいかに生かされているか

—— 米国の最前線から ——

講師：竹村登茂子（大阪芸術大客員教授）

もともと新聞記者時代に非行少年の取材を長期に行なったことから修復的司法、対話に関心を持ち、大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程で「共生」と教育学の視点から研究。今回の発表もその一部である。

発表者は昨年、修復的対話（実践 or 正義）を取り入れている米国ペンシルバニア州にある私立学校に約1ヶ月間、客員研究員として滞り、学校におけるこの実践の実態と成果について、参与観察を行った。厳しい生徒指導への裏返しとして浸透が進むこの手法は、どのような背景や考えから行われ、どんな成果や問題を生んでいるか。実態から見えたものを紹介するとともに、日本においてはどのような発想が進展を加速できるのか、逆に何が伸長を阻んでいるのか。日本で観察を行っている高校の実態や、これまでのアンケート調査などから、考える。

(2) 学校で修復的正義はいかに進められているか？

—— 日本の実践類型と今後の展望 ——

講師：竹原幸太（東京都立大学准教授）

早稲田大学第一文学部卒業、同大学院文学研究科修士号・博士号取得。2000年代初頭よりRJ研究会等で学校の修復的実践を研究。修復的実践WGメンバーと共同研究を展開、2011年IIRP国際会議で修復的実践の研修受講、実践交流誌『共生と修復』を発行（2011～18年、5号で休刊）。著書『教育と修復的正義—学校における修復的実践』（成文堂、2018）の他、司法・福祉・教育を横断した近著『立ち直り・甦りの教育福祉学—少年司法の軌跡と甦育』（成文堂、2022）がある。

本報告では竹村報告及び先行研究を踏まえ、今現在、日本の教育領域で試みられている修復的実践を類型化し、実践紹介から実践を実質化していく方途を検討することを目的とする。

◎全体討論：「修復的正義とピアメディエーション」

ファシリテーター：濱田陽子（岡山大学学術研究院社会文化科学学域（法）教授）

竹村登茂子氏とともに故津田尚廣弁護士によるピアメディエーター養成講座を受講し、2019年4月にピアメディエーターとして認定される。懲罰的世界観から脱却し関係修復の途を模索する非暴力コミュニケーションとピアメディエーションとの関係に関心を寄せている。

【発表概要・参考資料】

学校で修復的正義はいかに進められているか？－日本の実践類型と今後の展望

2024.6.30 PM 学会学習会 竹原幸太（東京都立大学）

問題関心（立ち直り・甦りの教育学）と前回学習会の省察

- ・ 青少年問題「対策」ではなく、問題克服過程を「教育」実践に変換している実践を研究
- ・ 「対立・問題」の克服過程は、自分を作り直していく市民性の発達過程ではないか？
- ・ 拙著『失敗してもいいんだよー子ども文化と少年司法』（本の泉社、2017）、『教育と修復的正義－学校における修復的实践へ』（成文堂、2018）で問題提起
- ・ 2024.1月学習会－近時の子ども法制と関連づけ、メディアーションの現代的要請を分析
先進事例として、修復的正義、ジャスト・コミュニティ、茨田高校メディアーション教育
（津田先生の貢献）を焦点化し、メディアーションを継続する要素について検討

報告概要－竹村報告と先行研究を踏まえ、日本の修復的実践の類型と展望について検討

1. 課題設定－修復的実践の紹介段階から実践の組織化段階へ

- ・ 2000～2010年代の国際動向－紛争解決過程で当事者が疎外されてきた課題の表面化、当事者の参加・対話により、新たな正義の実現を目指すムーブメントとしての「修復的正義」
- ・ N.クリスティの「財産としての紛争」観（Conflicts as property）－学校でも問題解決過程が教員主導傾向の課題（B.モリソン）、2000年ワクテルがIIRP設立（2011年研修受講）
- ・ 連続体としての修復的実践－問題の事後予防から未然予防へ（竹原2018）

第一水準	第二水準	第三水準
学級活動で他者の意見を傾聴するスキル、対話を行うスキル、非暴力的な紛争解決スキル等をトーキング・ピースを通じて学ぶ	軽微な問題行動の解決において、教員と特定の生徒の小規模な会議、学級会議、仲間調停（ピア・メディアーション）等を行う	重大な問題行動の解決において、司法ソーシャルワーカー、警察、父母、地域住民等の学校外の第三者も加えて会議を行う

報告目的－日本でも進む実践を類型化し、それらの実践知の共通点と相違点を検討

2. 修復的実践の類型

- ①生徒指導・教育方法論－ゼロ・トレランスの代替策として紹介されつつ、近時はPBIS（ポジティブな行動介入支援）、P4C（子どもの哲学対話）との重なりも注目
 - ②修復的対話論－教員とは異なる「中立な第三者性」（弁護士やスクールソーシャルワーカー等）を有する専門職が連携して実践、RJ対話の会により修復的対話マニュアルも作成
 - ③教科での紛争解決教育・ピア・メディアーション論－対立場面の読み物資料を通じて第三者が調停する力を育む授業（①「何があったかを聞く」②「両者の気持ちに耳を傾ける」③「二人に修正をさせる」学習過程）、茨田高校やメディアーターズ等が早くに実践
- ⇒対話を促す教員の専門性、第三者による対立の調停、教科教育を通じた紛争解決力の育成等、各実践者の目的意識が反映されて実践が進み、想定する学年層も多様化

3. まとめ：全体討議に向けて－課題山積だが、同時に日本で実践する際の強みとは何か？

【6月30日研究会申込みフォームについて】

研究会申込の皆様へ

学 会 員：無料

一般参加：2,000 円

新規入会：7,000 円（入会金 2,000 円+年会費 5,000 円(申込日～R6.7.31)）

※新規入会の方は研究会の参加費は無料となります。

一般の方：今後の研究会も1回参加ごとに2,000円をお振込みください。

※申込みフォーム先

<https://ws.formzu.net/dist/S67077509/>



※お振込みは、開催3日前までにお済ませいただきますようお願いいたします。

【更新申込みフォームについて】

更新の皆様へ

年会費更新料：5,000 円（令和5年度：R5.8.1～R6.7.31）

※更新申込みフォーム先

<https://ws.formzu.net/dist/S42974996/>



※前年度までの会費が未納の方は5,000円×年数を合わせてお振込み願います。

（未納の有無で不安な方は、事務局へ直接お問合せください。）

お手数ですが、ご協力よろしくをお願いいたします。

【新規入会申込みフォームについて】

ピアメディエーション学会へ新規入会ご希望の皆様へ

こちらから入会手続きをお願いいたします。

※ピアメディエーション学会（令和5年度：申込日～R6.7.31）

入会金：2,000 円

年会費：5,000 円

手続きが完了した時点で研究会の参加費は無料となります

※新規入会申込みフォーム先

<https://ws.formzu.net/dist/S641574026/>



【お問合せ先】

ピアメディエーション学会

事務局長 中村光男

TEL 090-1595-6206

メール jimu@peermediation.info